

総務管理課



交通指導所



信州子どもカフェ



フードドライブ

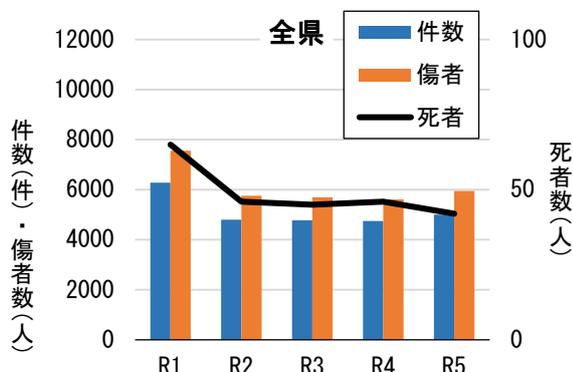
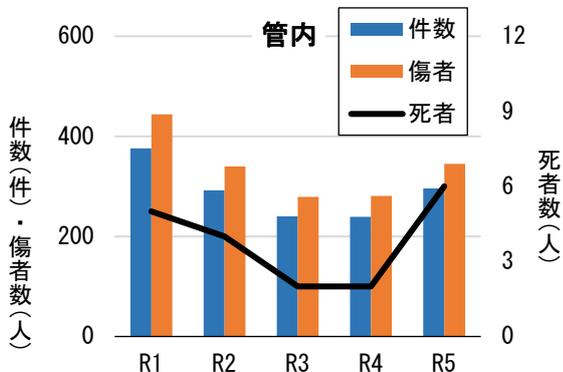


南信州地方部防災訓練

1 交通安全

(1) 交通事故発生状況

令和5年の管内の交通事故発生状況は、交通事故件数 296 件（対前年比+57 件）、死者 6 人（対前年比+4 人）、傷者 345 人（対前年比+64 件）と、いずれも前年と比べ増加しています。



(2) 交通安全対策

市町村、警察、交通安全協会及び関係団体と連携し、年4回の交通安全運動のほか、交通死亡事故多発時に啓発活動を実施しました。



人波作戦による呼びかけ（中央道飯田 IC）



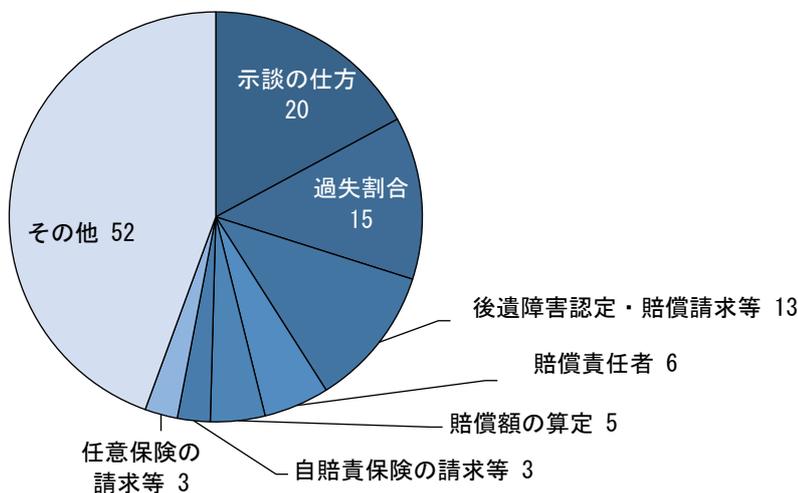
年末の交通安全運動に合わせた啓発活動

(3) 交通事故相談所の状況

交通事故相談所飯田支所では、職員が以下のとおり交通事故相談に応じました。

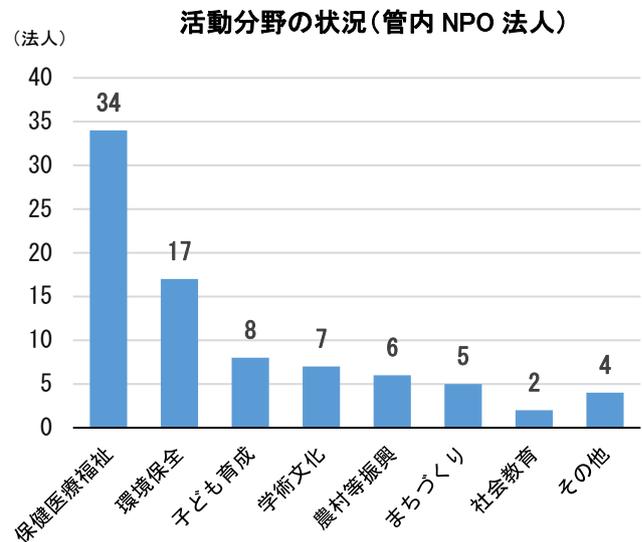
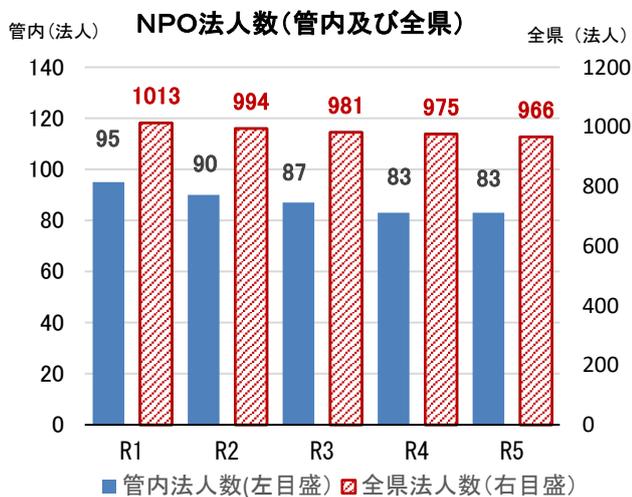
令和5年度交通事故相談（延べ117件）

（単位：件）



2 特定非営利活動法人（NPO法人）設立状況

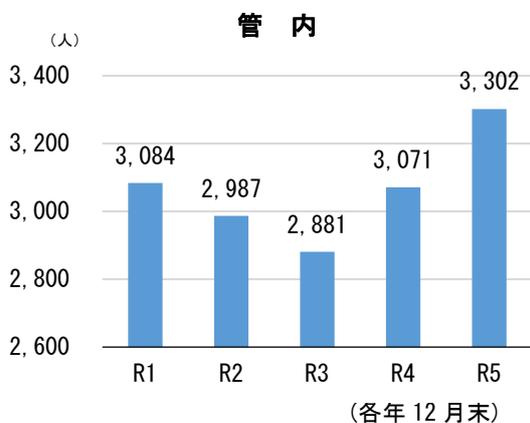
令和5年度末現在、管内にあるNPO法人の数は83法人となっており、主な活動分野としては、保健医療福祉分野が34法人、環境保全分野が17法人で、全体の6割を占めています。



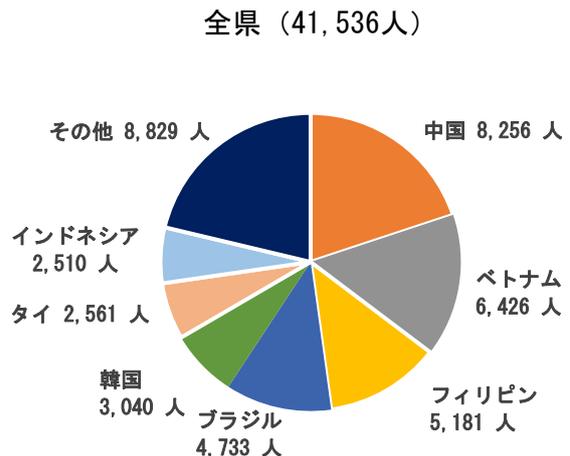
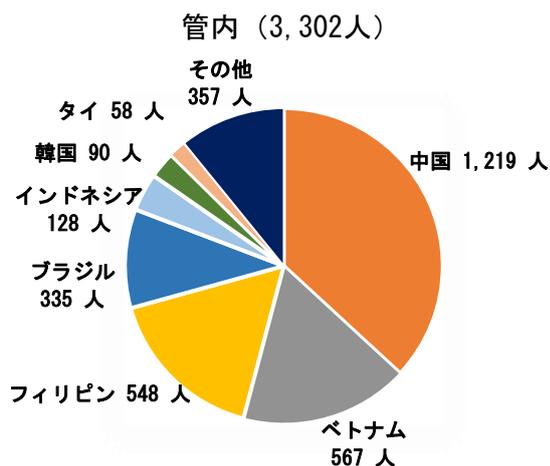
3 外国人住民の状況

(1) 外国人住民数の推移

管内の外国人住民数は、令和元年から減少傾向にありましたが、令和4年以降増加し、令和5年には3,302人となりました。国籍・地域別では、中国が全体の3割以上を占めています。



(2) 外国人住民の主な国籍・地域別内訳 (令和5年12月末)

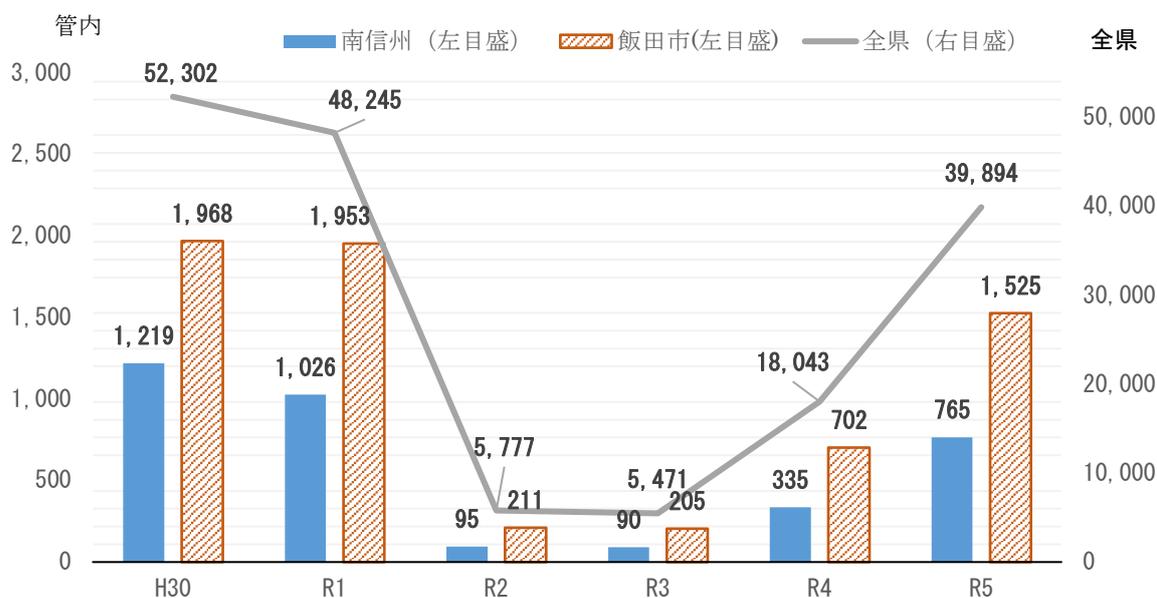


4 旅券申請状況

管内では飯田合同庁舎でのみ旅券業務を行っていましたが、平成 27 年 4 月 1 日から再委託により飯田市役所に旅券窓口を設置（市町村として県内初）し、飯田市民の方に対して旅券申請、交付事務を行っています。

旅券申請件数は、全県・管内いずれも、令和 2 年度から新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で大幅に減少しましたが、令和 5 年 5 月以降行動制限が解除されると申請件数は増加しています。

旅券申請件数の推移



5 子ども・若者支援施策

(1) 南信州地域振興局

◆フードドライブ

県庁及び各地域振興局、各保健福祉事務所と、県内のフードバンク関連団体が協力して「フードドライブ統一キャンペーン」を年3回及び南信州地域振興局総務管理課による2回、合わせて5回開催しています。

企業が独自のフードドライブを開催したり、食品メーカーからの職員提供も増えてきています。

(令和5年度実績)

回数	期 日	名 称	重量(g)	主 催
1	6月12日～7月14日	夏休み前フードドライブ 統一キャンペーン	353,616	県庁 南信州地域振興局 飯田保健福祉事務所
2	10月1日～10月31日	食品ロス削減フードドライブ 統一キャンペーン	792,169	県庁 南信州地域振興局 飯田保健福祉事務所
3	11月16日～12月16日	年末フードドライブ 統一キャンペーン	370,000	県庁 南信州地域振興局 飯田保健福祉事務所
4	12月7日	人権集会フードドライブ	10,500	南信州地域振興局 総務管理課
5	2月28日	将来世代応援県民会議、南信州 子ども応援プラットフォーム合 同会議	8,967	南信州地域振興局 総務管理課
合 計			1,535,272	

年間を通じプラットフォーム開催と合わせ、約2,470kgを超える食品の寄付を受付けました。御寄付いただいた食料品は、市町村社会福祉協議会や信州こどもカフェを通じて活用しています。

(2) 将来世代応援県民会議南信州地域会議

幼少期から青年期まで切れ目ない支援を推進するため、地域の関係機関で構成する長野県将来世代応援県民会議南信州地域会議を開催し、地域課題に応じた重点取組の推進と全県的取組の浸透に努めました。

◆啓発活動

県では、青少年の健全育成を推進するため、7月、11月を強化月間として、信州あいさつ運動等の啓発活動に取り組んでいます。

南信州地域でも、これに合わせ街頭啓発活動や広報活動等青少年の健全育成推進活動を実施しました。



7月の街頭啓発



11月の街頭啓発

◆ 南信州地域会議開催状況

開催日 令和6年2月28日
 参加者 飯田市社会福祉協議会、飯田下伊那 PTA 連合会、飯田商工会議所、西南部ブロック社会福祉協議会、日本労働組合連合会長野県連合会飯田地域協議会、まいさぼ飯田、まいさぼ下伊那、市町村、飯伊県立高等学校長会、下伊那中学校長会、下伊那小学校長会、飯田警察署、阿南警察署、県機関
 会議内容 令和5年度取組報告・令和6年度事業計画提案
 キッズ防災研修会



南信州地域会議 事業報告



南信州地域会議 フードドライブ

(3) 南信州子ども応援プラットフォーム

子どもの居場所「信州こどもカフェ」を普及拡大するため、南信州地区の子どもの居場所を運営している団体や個人・行政機関が集まり、「南信州子ども応援プラットフォーム」を運営しています。



◆ 活動実績 (令和5年度)

開催日	内 容	参加人数等
毎月1回以上	イオン飯田店及びびりんご並木イベントでのフードドライブ	
毎月1回	事業部会	
年間3回	おためしこどもカフェ (7/6、8/2、10/28)	174名
令和5年4月27日	第1回運営委員会	
6月18日	第1回全体会議及び活動報告会 (NPO 法人はなぶさ学園)	
9月15日	生駒市北第1地区民生児童委員協議会研修会開催(南信州子ども応援プラットフォームの活動説明とはなぶさ学園の活動報告及びワークショップ)	32名
10月28日	ドキュメンタリー映画を観て考える子どもの居場所&おためしこどもカフェ	47名
令和6年2月7日	飯田市龍江地区民生児童委員協議会研修会(南信州子ども応援プラットフォームの活動説明とさくら塾の活動報告)	46名
2月28日	将来世代応援県民会議、南信州子ども応援プラットフォーム合同会議	
3月中	QRコードで検索する安心できる居場所ポスター・カード印刷とホームページの整備 (飯田下伊那の小中高校生、小中高向け)	対象 約9,000名
3月18日	もりもり文化祭 (寄付された文房具の提供)	150名

活動の様子



イオン飯田店及びびりご並木イベントでのフードドライブの開催

1年間の活動を通して約936kgの食品の支援を受け付けました。地球環境高校の学生だけでなく、就労支援や生活支援団体を通じて問題を抱える若者の活躍の場も担っています。



第1回 全体会議及び活動報告会



おためしこどもカフェ



QRコードで安心できる居場所を検索するカードの作成

◆活動周知への取組

プラットフォーム構成団体の活動を周知するため各所でパネル展示を実施



ムトスぷらざ



飯田信用金庫 桐林支店

6 消防防災

(1) 火災発生状況

令和5年における管内の出火件数は66件（前年61件）で5件増加しています。

出火原因の上位は、たき火、放火・放火の疑い、車のトラブル、ごみ焼き、土手焼きとなっています。

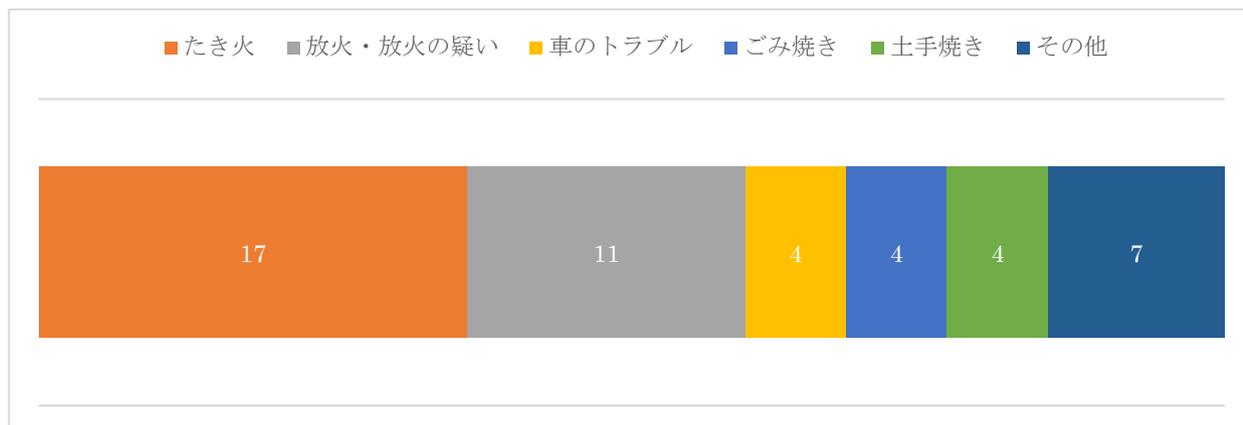
建物焼損床面積は2,836㎡、林野焼損面積は400aで、総損害額については84,535千円となり、前年から118,290千円減少しました。

◆ 火災の概要

項目		令和4年	令和5年	前年比	
出火件数（件）	総数	61	66	+5	
	内訳	建物	29	23	-6
		林野	7	11	+4
		車両	0	7	+7
		その他	25	25	±0
死傷者（人）	死者	1	3	+2	
	負傷者	10	6	-4	
建物焼損棟数（棟）		58	36	-22	
り災世帯数（世帯）		23	11	-12	
り災人員（人）		55	20	-35	
焼損面積	建物（㎡）	4,102	2,836	-1,266	
	林野（a）	73	400	-327	
損害額（千円）	総額	202,825	84,535	-118,290	
	内訳	建物	196,810	82,888	-113,922
		林野	0	0	±0
		車両	897	1,642	+745
		その他	5,118	5	-5,113

資料『令和5年 消防統計（飯田広域消防本部）』

◆ 令和5年 主な出火原因（総出火件数66件）



資料『令和5年 消防統計（飯田広域消防本部）』

(2) 消防本部及び消防署（常備消防）の状況

管内の常備消防は、1市3町10村を管轄しており、大阪府や香川県より広い地域を1本部4署6分署、216人体制で受け持っています。

地勢的にも約86%が森林、それ以外が宅地や耕地という状況に加え、南アルプスや中央アルプスに囲まれた急傾斜地が多い地域です。

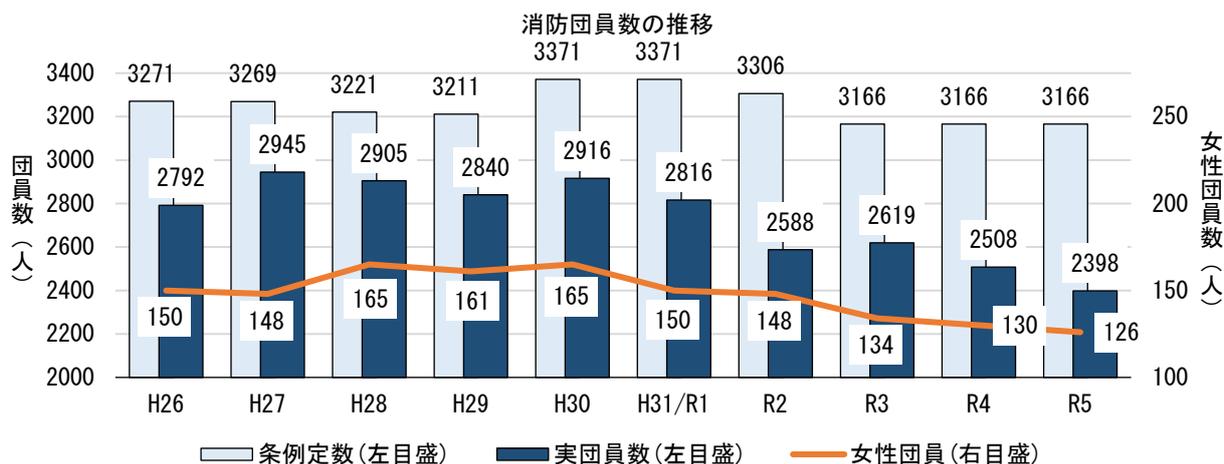
◆ 消防機械の配備状況

消防本部及び消防署（常備消防） （令和5年4月1日現在）				消防団（非常備消防） （令和5年4月1日現在）	
車種	台	車種	台	車種	台
ポンプ車	13	資機材搬送車	3	消防ポンプ自動車	27
小型ポンプ付積載車	2	指揮車	4	小型動力ポンプ付積載車	191
はしご車	1	支援車	3	小型動力ポンプ	56
化学車	1	査察広報車等	13		
救助工作車	2	一般車	5		
水槽車	1	無人航空機（ドローン）	4		
救急車	14				
人員輸送車	1	計	67	計	274

資料『消防年報 2023（飯田広域消防本部）』

(3) 消防団（非常備消防）の状況

令和5年4月1日現在の南信州地域振興局管内の非常備消防は、14団（1市3町10村）あり、その団員数は2,398名です。過去10年間の団員数等の推移は次のとおりです。



資料「消防年報 2023（飯田広域消防本部）」

少子高齢化による若年層の減少、地域社会への帰属意識の希薄化等から新規入団者の確保が難しくなっている中、機能別消防団員（OB等）、女性消防団員の加入は団員数確保のプラス材料となっています。

団員数について、令和5年は前年比110人の減少となっています。

管内の14消防団中、12消防団で女性消防団員を採用しています。

(4) 災害対応力の向上

管内は、14 市町村すべてが「南海トラフ地震防災対策推進地域」に、11 市町村が「東海地震に係る地震防災対策強化地域」に指定されているのに加え、急傾斜地が多く、土砂災害等により被害を受けやすい地形です。

当地域の県現地機関では、災害時の体制強化を図るため、各種防災訓練、研修会等を合同で実施しています。

◆ 長野県災害対策本部南信州地方部防災訓練

飯田合同庁舎内の県現地機関や、市町村、消防等と連携し、防災訓練を実施しています。

令和 5 年度は、出水期を控えた 5 月に風水害を想定した訓練、11 月には地震を想定した訓練を行い、災害対応能力の強化を図りました。



◆ 県境を越えた防災連携会議

県境を共有する長野県、静岡県、愛知県の各現地機関が、南海トラフ地震等の大規模災害発生時に県境を越えて連携強化を図っています。

令和 5 年度は、12 月 6 日に伊那合同庁舎で防災連携会議を行いました。

(5) 令和 5 年 6 月 2 日からの大雨による被害

大型で強い勢力の台風第 2 号からの湿った空気が前線に流れ込んだため、長野県では 6 月 1 日夜から雨が降りはじめ、2 日は南部を中心に激しい雨が降りました。2 日の日降水量は南部の多い所で 200 ミリを超え、南信濃、大鹿では統計開始以来の極値を更新しました。

この大雨により、道路が崩壊して交通に支障をきたし、農地、林地でも土砂災害による被害が複数発生しました。



飯田市上村国道 152 号線の陥没



飯田市 上村下栗地区の土砂崩落